

次世代の語り部が戦争の悲惨さを伝えます

次世代の語り部 定期講話会のご案内



実施日時

令和7年 6月 8日（日） 13:00 ～ 14:10

内容

第1部：語り部による講話 「一筋の光を求めて」

両眼失明となった三人の戦傷病者の話をします。目が見えないというハンディを抱えながらも家族とともに懸命に生きた方々の姿をお伝えします。

第2部：戦盲歌の解説と歌唱

戦盲歌は、戦争で失明した元兵士たちが詠んだ短歌に曲をつけたものです。歌人の佐佐木頼綱さんと歌手の神戸薫子さんは戦盲歌を今に伝える活動をしています。第2部では、お二人から戦盲歌の解説と歌唱をしていただき、作品に込められた思いや平和への願いをお伝えします。



佐佐木頼綱（プロフィール）

歌人、編集者、作詞家、エッセイスト
竹柏会「心の花」編集委員、「佐佐木
信綱研究」編集長、全国視覚障害者文
芸大会 短歌部門選者、前田純孝賞選
者、跡見学園女子大学兼任講師、第
28回歌壇賞受賞。



神戸薫子（プロフィール）

ソプラノ歌手、日本歌曲研究家
東京国際芸術協会優秀新人賞受賞。
夫の佐佐木頼綱と共に唱歌や日本歌
曲の研究を行っている。NPO法人
メドフィカ理事長、音楽教室オペ
ラっちゃんお代表。

会場

しょうけい館 シアター

（東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階）

地下鉄九段下駅7番出口徒歩3分 ※詳しくは裏面をご参照ください。

「次世代の語り部」のご紹介

次世代の語り部事業について

- 戦後80年を迎える中、戦争体験者の高齢化が進み、体験を語ることができる人がますます少なくなっています。そのため、戦中・戦後の体験や過酷な生活状況を後世に語り継いでいく必要があります。
- 当館では、2019年度から戦後世代を対象に、これら戦中・戦後の労苦を次世代に語り伝えてゆく「戦中・戦後の労苦を伝える次世代の語り部事業」を実施しています。

定期講話会について

- 毎月1回、第2日曜日13:00～14:00に来館者に向けて定期講話会を実施しています。予約不要、入退室自由です。お気軽にご参加ください。

語り部について

- 語り部は、当館で3年間の研修を修了された20代～70代の方々です。この方々ご自身は戦争や戦傷病者としての体験はありません。

講 話 内 容

- 講話内容は、「戦傷病者とその家族が体験した戦中・戦後の労苦」についてです。
- しょうけい館では、約200人の方々の証言を映像に収録してきました。この証言者の体験を中心に当時の社会状況などを織りまぜながら、写真やパネルを使って講話をおこないます。

ア ク セ ス

- 地下鉄をご利用の場合
 - ・東京メトロ「九段下駅（東西線・半蔵門線）」7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
 - ・都営地下鉄「九段下駅（新宿線）」7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
- バスをご利用の場合
 - ・都営バス「九段下（飯64系統）」より徒歩4分
 - ・千代田区コミュニティバス「千代田保健所（九段下駅）」より徒歩5分



お問い合わせ先

しょうけい館（戦傷病者史料館）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階

TEL：03-3234-7821 FAX：03-3234-7826

Email：yoyaku@shokeikan.go.jp